

うちゅうせん新聞

広報係 07年11月17日発行 第3号

仙台市天文ボランティア会報

例会より

9月15日(土)AM10:00~11:30 天文台倉庫整理 参加者4名

うちゅうせん発足10年分の資料の整理と処分を行いました。写真やお礼状など多数あり関わった人にとっては貴重な思い出です。スライドは今、パソコンとプロジェクトに変わったため、隔世の感があります。天文台閉台後は各部および船長宅に分散して保管することになります。

9月15日(土)PM2:00~3:30 出席者11名(公欠5名:野々島観望会参加のため)

5名が塩釜の観望会に参加のため出席できないというイレギュラーな開催でしたが合宿の報告や、芋煮会予定等が決められました。また、観望会の依頼も月4~5ペースで多忙な秋の予感です。

9,10月の観望会実施予定、参加者確認。

新天文台の運営と内覧会模様の報告。

秋合宿模様について報告(台風一過で何とか晴れ)

12月以降の例会について東北大理学部その他、市民センターやみやぎ生協会議室など候補。

現天文台のお別れ会の予定があるとの紹介(12/8)

10/27芋煮会、水の森公園で進めていく。

12/15星まつりの予定が同好会で議題となった。

新聞2号発行しました。

10月20日(土)PM2:00~4:00 出席者12名

残りわずかの西公園天文台での例会でした。

観望会:残りの10月と11月で7回の観望会の依頼です。夏よりも忙しいくらいです。

星まつり:今年から“ひかりのページェント”期間の星まつりができなくなり、模索します。(結果12月29日に晴天時に行くことになりました)

永井さんの写真NHK教育で放送にです。また、仙台リビング誌にもボランティア特集の中に掲載されます。

芋煮会(水の森キャンプ場)の参加希望者現在11名、雨天時中止(台風が来て中止でした)



来年7月1日青葉区錦ヶ丘に開館する新「仙台市天文台」の初代台長に、私たちの天文アドバイザーの土佐先生が就任するとの朗報!開館が身近に感じられ、7ヵ月後が待ち遠しい限りです。

イベントより 秋合宿 9月8日(土)~9日(日)

うちゅうせん恒例、秋の合宿行ってまいりました。行き先は秋田のコスモワールド、今回は同好会からの参加者多数ということで、総勢19名、なにかとにぎやかな合宿になりました。

トンネルを抜けて秋田にはいったとたんドシャドシャと雨が降ってきて、ああ今度の合宿の運命は決まったと思ったのですが、その後降ったり晴れたりなんとともビミョーな天候です。

それにしても結構みなさん集合時間より早めに到着しておりましたが、あれだけフクザツな道のりで迷った方はおられなかったのでしょうか?不思議と集まるのが早かったように感じられました。

さて、夕食の煎餅汁と炊き込みご飯などおいしくいただいた後、いよいよ今回待望のコスモワールドの60cm望遠鏡です。心配だった天気も天文台に移動中だんだん晴れてきて、最初は「天文台の見学だけでも・・・」という状態から、みごと観望可能となりました。

通常、ぼうつと映って見えるという認識の星雲が、まるで写真のように(?)明るく見えて思わず、えっ?という感じでした。私個人としては海王星がなんとなくコバルトブルーに見えて、えらく感動しました。「なるほど、あんな色に見えたら私も海王星と名付けるよなあ」と、勝手に納得してまいりました。観望後、恒例の土佐先生のお話です。これが楽しみの方は多いでしょう。今回は星のお話のほか、天文台の歴史を物語る貴重な映像を見せていただきました。それとオマケで土佐先生の星占い。なぜか参加者の性格を次から次へとズバリ言い当てて、たいへんな盛り上がりでした。その後、若干ですが夜中の観望も可能になり、結果的にかなり充実した秋の合宿であったと思います。

翌日、朝食後再び天文台を訪れて今度は太陽を見せていただきました。コスモワールドの方々にも色々お世話になりまして、ほんとうにありがとうございました。(渡)

観望会より

木町通り小学校 8月24日(金)18:30~20:30 うちゅうせん9名 参加者80人位

早めに現地入りし、昇っている月を探しましたが見付かりません。さすがに市内中心部、建物に囲まれた学校の為、校庭の北の端で無いと見えない事が判り、急遽駐車場所をそこに変更のお願いをしました。子供達と一緒にカレータイムからの開始。その後移動、今月の星空(宝示戸)・28日の皆既月食の紹介(近藤)観望の注意事項(永井)の後、4階から校庭に移動して月・木星の観望です。アルビレオやコートハンガーを導入していた人も・・・

80人程の児童に対し、望遠鏡が8台でしたから数も充分・楽しんで貰ったと思います。薄暗い校庭に並んだ子供達から御礼の挨拶の後、撤収しました。

みどり十字軍(水の森公園) 8月25日(土)18:30~20:00 うちゅうせん5名 参加者9名他多数

今日の参加者は4年生とその両親・4才とお母さん・年配のご婦人とここまでの6名が参加申し込みの方。犬の散歩で見たご婦人が急遽参加され、全部で7名・主催者側2名を加え9名の方が対象でした。もっとも夏休みも終盤を迎えキャンプに来ていた方やボーイスカウトの催しが有った様で望遠鏡を覗かれた方は多数。月と木星を楽しまれました。室内・室外・また室内と場所を移しながら楽しんで貰いました。お帰りの際船長が撮った天体写真を並べ、参加賞として差し上げました。

Yさん:今夜が初参加。役割は有りませんでした。10cmポルタに付いて貰いました。Aさん:万一の曇天に備え声掛けし、屈折を引っさげての参加をでした。Oさん:4回連続の参加・お疲れ様!家庭内不和の原因にならない事を願います。S.Wさん:10cm反射+双眼鏡で急遽の参加。水の森キャンプ場に足を運んだのは初めて、との事でした。

ボーイスカウトのリーダーの方が、年に何回かキャンプするので観望会をお願いするかも、との事。

芦の口小学校 8月31日(金)20:00~21:00 うちゅうせん5名 参加者6年生50名他家族50名程

芦の口小は今回が7年連続と思いますが、依頼回数が一番多いところ。例年同様、6年生50人の泊りイベントの一環でした。お天気は恵まれない事が多く今年も室内のみでした。子供たちの作ったカレーをご馳走になり子供たちの予定に乗り8時から今月の星空説明・星座物語2本立て・星座ビンゴ・地球儀を使って・太陽系の概略と質疑応答 質問は二人からだけでした



東松島教育委員会(松島自然の家)8月31日(金)18:30~20:00 うちゅうせん4名参加:矢本東小4年他100名

一日中雨天!最悪でした。今回のメンバーは、何故か技術屋さんばかりが集まってしまっていて、ちょっと例がないスペシャルな曇天バージョンでした。うちゅうせんについて活動等を、簡単に紹介・ステラナビで木星を投影して、木星の説明(晴れば見えたよ...程度)・星座物語(銀河鉄道の夜)BGMの音楽付きで、子供達も静かにして、耳を傾けていました。今月の星空・100円ショップのルーペで作った望遠鏡(計200円?)の紹介(子供より先生達にバカうけ)・凹面鏡を使って、反射望遠鏡の原理を説明(自作のオリジナル・プログラムでしょうか?分かりやすくよかったですと思います。地球儀と月の模型も)・疑似月面観望 ステラナビにて満月をスクリーンに投影し、これを望遠鏡で疑似・観望。アニメ風の星座物語もやりませんでした。これはこれで好評のよう。技術屋集団ですから、子供に説明するときも「商談の技術打ち合わせ」みたいな口調になりがちで・・・でも、たぶん、子供も先生も気付いてませんよ。

塩釜二小松陽台子ども会 9月15日(土)18:30~20:00(15:30塩釜港発)うちゅうせん5名参加者41名

塩竈の子供会の宿泊行事の中の観望依頼で一泊野々島観望会無事終了しました。月没の関係で、夕食を食べる直前に急遽月と木星を見て貰い、それから夕食。その後7時から室内にて、星座早見の工作、今月の星空解説、星座物語、ビンゴゲームで1部終了。子供たちは花火・・・幼児はお風呂・就寝。8時30分から小学生・大人対象の第2部 外で星座案内、木星・アルビレオ・h等を観望してもらいました。4年生の宿題に、「はくちょう座とアルビレオを見よう」がありとてもよろこんで頂けました。薄雲がりましたが、実際の星を観望できたのは、なによりです。

太白区リクリエーション観望会 9月22日(土)18:30~20:20 うちゅうせん5名参加者6名

夕方から本格的に曇り、始まるころから豪雨になり、そのせいかどうか参加予定20名を大きく下回りました。参加者が年配の方だったので、急遽内容を変更し、大人バージョンの曇天プログラムを行いました。星に関する説明をよく聞いてくださり、関心の高さを感じました。次回実施することがあれば、本物の星を見て頂けたらと思いました。参加された方に星座のポストカードを記念に差し上げました。遠藤さんが子ども向けのビンゴの景品を準備してくれましたが、次回に持ち越しになりました。分かりにくい場所に集合したうちゅうせんの参加者のみなさんご苦労様でした。(大石)

若林区海浜公園冒険広場観望会 9月29日(土)18:00~19:30 うちゅうせん7名 参加者35名

日中は晴れていたのに、夕方から雲が広がりはじめ、開始時刻には全面曇り空。結局曇天バージョンとなりました。リーダーの開会の挨拶・自己紹介のあと船長のあいさつ、参加者自己紹介、今月の星空、星座物語 2本だて(七夕、いるか)月と太陽のはなし、ビンゴゲーム、質問コーナーといつものパターンでしたが、幼稚園から高校生まで、さらに保護者の方と年齢差3?才のひらきがあり、対象を絞るのが大変でした。参加賞のシールは中学生まででしたが、いちばん喜んでいたので船長の写真を差し上げた大人の方でした。また、このような観望会を開きたいとおっしゃって頂いたので、いずれ依頼があるかも・・・?

泉ヶ岳悠遊フェスティバル 10月13日(土) うちゅうせん4名+ 参加者35名

泉区のまちづくりの一環で開催されたお祭りで、10時から19時まで泉ヶ岳口周辺で実施され、日中は太陽観測・夜は星空観望ということでの参加でした。

曇り気味のお天気で、太陽が見られたのは午後になってからのほんの僅かな時間帯のみ。不本意ながら望遠鏡でリフトの上部や仙台の街中・太平洋上を進む船など見て喜んで貰う事が出来ました。

榎ヶ岡市民センター 10月13日(土) うちゅうせん5名 参加者75名

開始時(18時)薄明と雲っばいお天気だったので、挨拶の後星座物語で開始。

外は?と見たらビルだらけの木立の上に木星が見え、早い内しか見られない状況・と言う事で急遽外に出て見て貰う事に・・・木星と併せ、夏の大三角が天頂に居座っていましたのでアルビレオを見て貰いました。湿っばい空気の為、見え味はイマイチでしたが参加者の大半に大変喜んで貰え何よりでした。

再度室内に戻り月の話などを少しした後、質問コーナー。それが終わった時、予定時刻を8分ほどオーバーしていました。子供達に参加賞として天文シールを渡したところそれを見て数名から質問攻めに遭いました。質問が有る・と言う事は「よく見・聞き」している事の証・喜ばしい事では有ります。

鹿野小:星を見る会に協力 10/18中止 船長のみ参加

天文台から借用したと言う望遠鏡3台と双眼鏡2台が設置済みでしたから、私のやる事は望遠鏡の操作と少しばかりの星空案内・プライベートで遊びに行った積りでしたが、伝言板にお礼の書込みがありました。

高森中学校・星を見る会 10月19日(金) うちゅうせん3名 参加者50名

曇り空から雨降りになり、残念ながら「星の観れない会」になってしまいました。それにしても中学校での実施は珍しいです。

挨拶から今月の星空説明・星座物語(銀河鉄道の夜・鎖につながれたお姫様)月や地球の話・ビンゴゲーム 何時もの流れで1時間20分、残り10分ほどで質問コーナーを試みましたが質問は一つだけでした。

終了後、担当の先生から「今夜・楽しかった人は拍手で・・・」の促しで、全員が大きな拍手をしてくれましたので、それを信じましょう!

りふ環境まるごとフェア 10月19日(金) 9:30~14:00 うちゅうせん4名+ (同好会3名) 参加者数百名

昨夜の雨が嘘であるかのような晴天に恵まれ、大勢の家族連れの方に太陽を観望して戴くことができました。風は少々強かったですが、ほぼ快晴でしたので、まあ、良かったですでしょう。これもリーダーの日頃の行いが良いから!? ただし、太陽が停滞期で、今回も黒点は皆無し!

・場所:利府町役場前の広場(いつもは駐車場)
・観望対象:太陽のみ。機材はH フィルター付3台、減光フィルター付2台(地上用に・・・1台)
・所見など:*高価なH フィルターを使用し、折角見せても、見慣れていない方には、プロミネンスは見えないらしい。“赤いだけ!”みたいな感想が殆どでした。小生はよく見えるのですが・・・(^_^;)。
*他のブースでは、強風で資料が吹き飛ばされる等のトラブルが発生していましたが、こちらは・・・しっかり者のEMIさんが事前にコンピニでガムテープを購入し、パネルを固定しましたのでトラブルなしでした。

東松島・観望会 11月1日(木)18:30~19:30 うちゅうせん3名 参加者60名

生憎の曇天で、星を見ることあたわず、室内での1時間となりました。地元の良さを再認識する為の一泊行事の様で会場に到着した時、磯の香りがしたのは、牡蠣を焼いて食べた時の香りが残っていたから・だったようです。食べたかったな~(笑)

新人紹介! 水口さん

青葉区から参加しています水口です。春に一部の観望会にお供させていたゞきました。その日はあいにくの曇り空でしたが、物語やゲームなどで楽しんでいたゞけたかと思えます。今年は可能な時は参加して、星空を眺めて、楽しい観望会のサポートができたと思います。よろしくお願ひします。

[連載第3回] 初代船長回顧録

平成9年7月「天文ボランティアうちゅうせん」の発足時、天文台長は岡崎さん、担当職員は小石川さんと黒須さんで黒須さんも後にうちゅうせんの乗組員となって活躍されたのでした。翌年の平成10年には養成講座の講師として天文のお話をしてくださった土佐先生も乗組員に加わり以来ずっとうちゅうせんの活動を支えていただいております。

それにしても仙台市天文台には天文の研究・普及などを目指して開台当初から活躍している仙台天文同好会というサークルがあったわけですが、新たに天文ボランティアを養成することになったのは仙台市生涯学習課からの要請があったからだと聞いております。私も同好会員でしたが、会員以外に広く外に出向いて行っているいろいろな方々に星空の魅力を伝えたいと思い、天文ボランティアの養成講座を受けて活動を始めたのでした。

やがて、このように同好会員として、またうちゅうせん乗組員としてかけもちで活動する方も少しずつ出てきてこのことは本人のみならず双方の会の活動にとってもプラスになっているのではないかと思います。

飛び出せうちゅうせん (会の名称)

ボランティアの会を発足させるにあたり最初に決めなければならなかったのが会の名称です。これはまず、会への参加希望者全員1つまたは複数の候補を無記名で紙に書いて提出してもらうことから始めました。それらを黒板に書き出して挙手により投票していったのです。採用された「うちゅうせん」の他に、「オリオン」や「昴」など星や星座にちなんだ名称が多かったように思います。

最終的には、星を見せたり星の話をしたりして宇宙の魅力を伝える天文台の基地を飛び立っていくといった活動からのイメージでこの名称に決まりました。そして宇宙船とも宇宙線とも受けとれ、また小さい子供達にも分かりやすく親しみやすいようひらがなで表記することにしたのでした。

フリースクール煌代表 植村 ひとつ1つに理由があるのですね(編集部)

9/22 シニア向け観望会

集合時刻前のドシャ降りのためか集まらずマンツウマンの曇天バージョンに・・・。

中高年のシニア層のため星座物語やゲームの代わりに遠藤さんのオリジナルスライド解説となりました。ユーモアを交えた巧みな解説は

皆さんをひきつけ飽きさせず、最後には星の1つとして地球規模で環境問題に警鐘を鳴らすなど幅広い内容でした。大人向けにメッセージを発信する新たなテーマと感じました。



編集後記

今年の秋は観望会が目白押しで活動報告の記事で、いっぱいになり文字ばかりとなりました。読むのに大変かと思えます。内容も紙面の都合で要約した部分もありますが活動の記録が目的ですのでご了承願ひます。(辺)

うちゅうせんの芋煮、今年もついていませんね。来年芋煮ができれば今年の分も含めて盛大にやりたいものです。うちゅうせんが発足して10年。この10年間のうちゅうせんの経緯をしっかりと振り返り、次へ繋ぐ糧としたいです。(今)

うちゅうせんの備品等が無くなって来ると、本当に天文台が終わる実感がしてきます。行く度に来場者が多く名残を惜んでいるようでした。(中)

今から約750年前に「・・・文永元年7月5日、彗星東方に出でて余光大体一国に及ぶ。此又世始まりてより以来無き所の凶瑞なり。・・・」と立正安国論野連の文にあります。ホームズ彗星は肉眼でやっと見える程度なので大丈夫かな?

